21 言葉の単位・文節の働き（主語・述語）

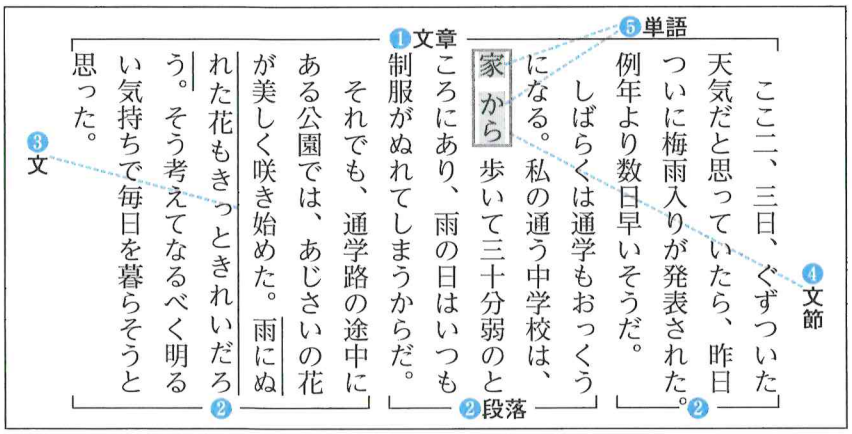
要点のまとめ

言葉の単位

❶**文章**…最も大きな言葉の単位。書き手の考えや感情など、あるまとまった内容を書き表したものの全体。

❷**段落**…文章の中で、内容ごとに区切った一まとまり。段落の初めは改行し、一字下げて書き出す。形式段落ともいう。

※幾つかの段落が結び付いて大きなまとまりとなったものは、「意味段落」という。



❸**文**…まとまった内容を表す一続きの言葉。文の終わりには「。」（句点）を付ける。「？」や「！」が付くこともある。

❹**文節**…文を、意味を壊さない程度に短く区切った一まとまり。文節の切れ目には「ネ」「サ」「ヨ」などを入れることができる。

例 例年より（ネ）梅雨入りが（ネ）数日早い（ネ）。

注意
- 「歩いて／いる」「飛んで／くる」などは、「て（で）」の後で区切る。
- 「こと」「もの」「ところ」「ため」の前で区切る。

例 して／いる／ことが／ある。

❺**単語**…意味をもつ言葉の最小の単位。

注意 複合語は、一語として数える。

例 取り出す・勉強する・発表会

文節の働き（主語・述語）

- 文節と文節は、文の中でいろいろな関係で結び付き、文を組み立てている。

❶**主語**…「何（誰）が」に当たる文節。「……が」だけでなく、「……は」「……も」「……こそ」などの形もある。主語は省略されることもある。

例 姉は 高校生だ。
私も 行くよ。
彼こそ 部長に ふさわしい。

※文の主語を探すとき……まず述語を見つけて、それに対応する「何が」「誰が」に当たる主語を探す。 主語・述語の関係 ↓104ページ

❷**述語**…「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある・いる」「ない」に当たる文節。

例 電車が 走る。
夕日が きれいだ。
彼は ピッチャーだ。

確認問題

1 言葉の単位 **次の文章の中に、段落（形式段落）と文はそれぞれ幾つありますか。算用数字で答えなさい。**

僕の通学路には公園がある。大きな広場があるので、僕が学校から帰る時間には、ボール遊びをする小学生がたくさん遊んでいる。

夏休みになると、僕は午前中で部活動を終えて帰ってくる。その時間には、小さな子供たちが虫取り網を振り回し、一生懸命セミを追いかけている。隣に神社があるせいか、公園には木が多く、セミがたくさんいるようだ。

段落 □ 文 □

ポイント 段落（形式段落）の初めは改行され、一字下げて書き出され、文の終わりには句点が付けられている。また、句点（。）の数だけ文がある。

2 文節　次の文を文節に分けたものとして最も適切なものを後から一つ選び、記号で答えなさい。〈三重〉

▪自分のペースがこわれてしまうのだ。

ア　自分の／ペースが／こわれてしまうのだ。
イ　自分の／ペースが／こわれて／しまうのだ。
ウ　自分の／ペースが／こわれて／しまう／のだ。
エ　自分／の／ペース／が／こわれ／て／しまう／の／だ。

□

ポイント「／」が入っているところに「ネ」「サ」「ヨ」などを入れてみて、不自然でないかを確かめる。

3 文節　次の各文を、例にならって文節に分けなさい。

例 大きな／船が／見える。

① 昨日の夕食はカレーライスだった。
② 修学旅行で農家の生活を体験する。
③ 雨が降っていたのでバスで出かけた。
④ 私は漢字を覚えるために何度も書いた。
⑤ 今日は二月にしては寒くない。

ポイント「ネ」「サ」「ヨ」などが入れられるところで区切る。複合語は一語として数えるので、区切らない。③「降っていたので」の分け方に注意する。

4 単語　次の文を単語に分けたものとして最も適切なものを後から一つ選び、記号で答えなさい。〈茨城〉

▪本はあまり読みません。

ア　本―は―あま―り―読み―ません。
イ　本―は―あま―り―読み―ま―せ―ん。
ウ　本―は―あまり―読み―ませ―ん。
エ　本―は―あまり―読み―ま―せ―ん。

□

ポイント まず文節に分け、その文節を単語に区切れるか確かめる。そのうえで選択肢を見比べて、はっきり誤りだとわかるものを除外して正解をしぼっていく。

5 単語　次の各文を、例にならって単語に分けなさい。

例 涼しい―風―に―吹か―れる。

① あなたは泳ぐことが好きですか。
② 週末には二時間ほど勉強する。
③ 姉はニューヨークに住んでいます。
④ 弟に手伝わせて料理をした。

ポイント「ネ」などを入れられるところで文節に区切り、文節を単語に区切れるかを確かめる。助詞・助動詞にも注意する。助詞・助動詞 112・114ページ

6 単語　次の文を単語に分ける場合、幾つに分けられますか。算用数字で答えなさい。〈熊本〉

▪石けんを作ることになっていた。

□

ポイント「なっていた」の部分は「なる」という単語の他に、「いる」という単語も含まれている。

7 主語・述語　次の各文から、主語と述語をそれぞれ一文節で抜き出しなさい。

① 東の空には満月が浮かぶ。

主語 □　述語 □

② いとこもその件について一言たりとも話さない。

主語 □　述語 □

ポイント まず文の中で、「どうする」「どんなだ」「何だ」などを表す述語を捉え、その述語に対応する主語「何が・誰が」を探す。文節で抜き出すように注意する。主語の形は「……が」以外に「……は」「……も」「……こそ」などもある。